

ハローキャリアワーク通信

令和8年9月
教育総合センター
事業推進担当課

アサヒ飲料株式会社による

「自然の恵みから生まれた100年ブランド『三ツ矢サイダー』を

これからの100年もつなげるために力をかしてくれませんか？」

8月28日の午前と午後に、アサヒ飲料株式会社において表題の活動が行われました。今年も応募者が多く、定員48名に対して198名の応募がありました。当日は曇り空ながら暑さを感じる天候の中、小学3年生から6年生までの児童が参加し、欠席者を除き午前の部22名、午後の部19名が元気にプログラムへ取り組みました。

参加した子どもたちはエントランスで受付を済ませた後、地下の会議室の前で配られた熱中症対策の飲料を受け取り、4つの班に分かれて着席しました。はじめに教育委員会より本日の説明と諸注意があり、アサヒ飲料の担当者の杉様の進行によりプログラムがスタートしました。

杉様からは、館内での諸注意や本日の流れについて、説明がありました。その後2つのグループに分かれて、オフィスツアーと名刺交換のワークが行われました。



オフィスツアーで伺ったのは会議室、執務室、自動販売機見学です。自動販売機見学では、実物の内部を特別に見せていただきました。初めて見る自動販売機の内側に参加者も興味津々です。そこでは、自動販売機の歴史や仕組み、現在アサヒ飲料で取り組んでいるCO₂を食べる自動販売機について説明がありました。説明の後に質疑応答の時間になりましたが、参加者からの質問が終わらないほどでした。「もし入れる商品が間違ってしまったらどうするのか」「冷たいものと温かいものを区別する方法は？」といった具体的な質問に、丁寧に答えていただきました。

次に伺った会議室では、1つのフロアがすべて会議室になっていました。そこには14部屋も会議室があるということでした。また、個人で集中して業務を行うスペースも20席ありました。その他にも別の階には執務室という仕事をする場所がありました。そこでは東京・神奈川・千葉のエリアを担当されている、営業部や人事総務部、営業企画部の方々が働かれていました。



自動販売機にペットボトルを入れる体験をしました



「会議室のイスってふかふか。」

続いて、名刺交換を体験しました。アサヒ飲料の方が、参加者一人一人の名刺を作ってくださいと、名刺入れも準備してくださっていました。初めて受け取る名刺に参加者は少し緊張している子もいました。

初めにアサヒ飲料の社員の方が見本を見せてくださり、社員の方のお手本を参考に子どもたちも実践しました。慣れない指の使い方に戸惑う子もいましたが、全員が隣の人同士で名刺交換をすることができました。中には、すぐに渡し方と受け取り方を身に付け、積極的に名刺交換をしに行く子もいました。その後、各班の代表者が首都圏営業企画部 部長の鈴木 隆士様と名刺交換をしました。



本物の社員の方と名刺交換
をしました！



「〇〇と申します。」
「頂戴いたします。」

オフィスツアーと名刺交換を済ませた後に10分間の休憩時間を挟み、いよいよ『三ツ矢サイダー LABO』の開始です。ここからはアサヒ飲料株式会社より細野様が講師で進行されました。細野様よりまず、アサヒ飲料は何をしている会社か、どんな商品を扱っているか聞かれました。「三ツ矢サイダー」「ウィルキンソン」「カルピス®」といった商品名が次々飛び交いました。その後、アサヒ飲料にある仕事内容を4つ教えていただきました。「①生み出す」→「②つくる」→「③届ける」→「④支える」の4つの仕事があるとのことでした。また、アサヒ飲料ではSDGsの取組みも行われているというお話がありました。

そこで細野様から「今回は、『三ツ矢サイダー』を題材に、水の大切さと地域環境について考えてみましょう。」と説明がありました。まず生活の中で水や環境を守るためにしていることを聞かれました。参加者からは、「リサイクル」「マイ箸・マイボトル」、「レジ袋は使わない」等、様々な意見が出されました。アサヒ飲料では、三ツ矢サイダーだけでも「ローラベル化」や「PET樹脂使用量を削減している」等が挙げられました。



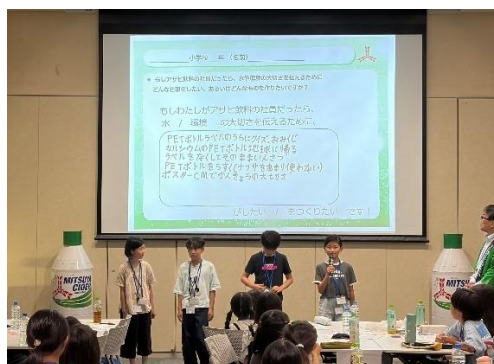
マイバッグを使っています。



お風呂の水はこまめに止めます！

そこで提示されたのが、「もしアサヒ飲料の社員だったら、水や環境の大切さを伝えるためにどんな仕事をしたい、あるいはどんなものを作りたいですか？」という質問でした。いよいよメインテーマである、アサヒ飲料の社員になりきったワークです。

参加者はLABOの冒頭で説明されたアサヒ飲料の仕事内容を思い出しながら、自分の考えを書き出しました。「PETボトルをうすく（ナフサをあまり使わない）」、「CO₂を吸収する自販機の数を増やす」、「海に流したら魚のえさになるペットボトルやカンを作ったり、みんなが使う施設の自動販売機は自動販売機に飲みきったペットボトルを入れて、リサイクルできる自動販売機をつくったりしたい」といった様々な考えを交流しました。



全体の前に立って、
発表を頑張りました！



最後にみんなで乾杯
🍷

最後に、班の意見をまとめて、全体で発表会が行われました。班の中で出てきた意見をすべて発表する班や、みんなで一つに合意形成したものを発表する班もありました。その場で発表者を決め、発表者は全体の前に出て、堂々と発表することができました。プログラムの最後には全員でアサヒ飲料の飲み物「三ツ矢サイダー」や「カルピス®」で乾杯し、無事に終了しました。アサヒ飲料の皆さまのご協力のもと、無事終了することができました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



午前の部



午後の部